

## 1. 概要

主に教員の能力開発をテーマとした教育エキスポで、文部科学省をはじめ教育関連事業企業等によるブースの出展のほか、世界で活躍する教育研究者・有識者によるセミナー等を実施する。当エキスポは、タイの教育イベントの中では、教員の集客力が高いことで知られている。

- ・ 日時：2017年10月16日（月）～18日（水）
- ・ 場所：IMPACT コンベンションセンター（タイ、バンコク）
- ・ テーマ：Education 1,0, 2,0, 3,0, 4,0…From policy to classroom
- ・ 主催：タイ教育省基礎教育局、タイ教員評議会、チュラロンコン大学教育学部、コンケン大学教育学部、タマサット大学教育学部、タイ科学技術教育協会、Pico (Thailand) Public Company Ltd.
- ・ 主な参加者：タイ現役教員（校長、副校長、教務係等）、教育大学関係者、教育研究者、教育局指導主事、保護者、関連団体・企業等 ※昨年 35655 人
- ・ 参考 URL（EDUCA ホームページ）：<http://www.educathai.com/>  
（EDUCA フェイスブック）：<https://www.facebook.com/educathai/>

## 2. EDU-Port としての出展

- ①ブース展示（Exhibition） 10月16日～18日
- ②「日本特別セミナー」 10月17日のみ ※フィンランド、韓国も特別セミナー実施

### ①ブース展示（Exhibition）

日本の教育系コンテンツを有する 11 機関、14 ブースをまとめ、「Japan Pavilion」として出展。タイの教員や教育関係者向けに日本型教育を PR。



#### ○出展機関（50音順）

- ・ 株式会社アイキューブ（いずみ塾）
- ・ 朝日新聞（AGGS）
- ・ EDU-Port ニッポン（文部科学省）
- ・ 数学検定協会
- ・ スポーツデータバンク
- ・ 筑波大学
- ・ 日本学生支援機構（JASSO）
- ・ 広島大学
- ・ MARUKOME (THAILAND) CO., LTD.
- ・ MOVE (THAILAND) CO., LTD.
- ・ Liclass Education Co., Ltd

○文科省ブース（3日間で700名程度来訪。）

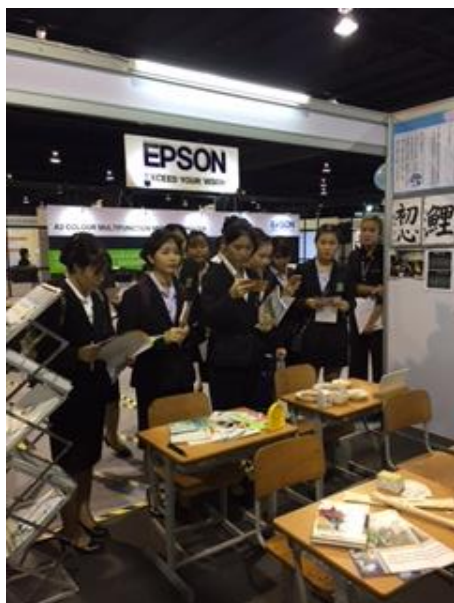


▲18 平米のブースで、日本の基礎教育を紹介。（右上）パンフレット（Basic Education in Japan）の内容をポスターにして掲示。モニターでは「日本の小学生の一日（タイ語字幕）」を放映。（右下）日本の小学校再現コーナー（バンコク日本人学校から机、掲示物、学習用具を借用）、モニターでは NITS 作成の小学生の授業光景を放映。



（左）タイ教育省基礎教育局一行

（上）タイ教員評議会一行



（左）先生方が団体がブースを見学

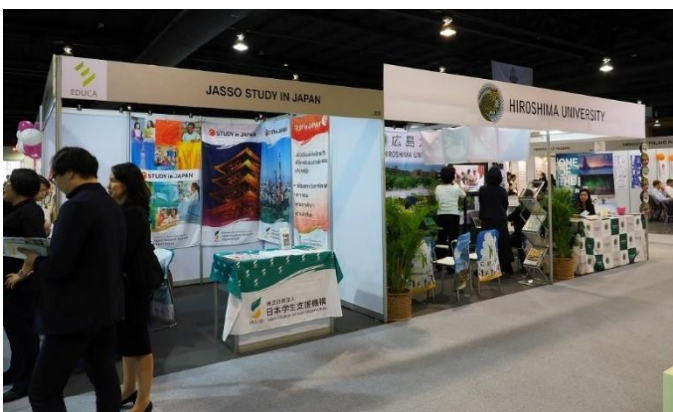
## ○Japan Pavilion



▲株式会社アイキューブ (いずみ塾)



▲数学検定協会 (H28 国別分科会参加機関)



▲広島大学 (パイロット事業実施機関)・JASSO



▲スポーツデータバンク (H28 国別分科会参加機関)



▲朝日新聞 (パイロット事業実施機関)



▲筑波大学 (パイロット事業実施機関)

②「日本特別セミナー」（4 講演合わせての参加者は 300 人程度。）

9:00-10:30 文部科学省 初等中等教育企画課国際企画調整室 室長 森友 浩史

“Fostering competency in 知・徳・体 (solid academic ability, richness in humanity and healthy body) in Japanese education”

11:00-12:30 独立行政法人 教職員支援機構 上席フェロー 百合田 真樹人 他

“Stimulating New Mode of Learning for the 21 Century: Building Collaboration for Better Teaching and Learning”

13:30-15:00 国立大学法人 東京学芸大学 名誉教授 藤井 齊亮

“Professional development using Lesson Study based on practices at Bangkok Japanese School”

15:30-17:00 株式会社 朝日新聞社 メディアラボ主査 榎本 淳 他

““Mikke” The Japanese style learning platform”



▲Japan Seminarの様子

左上から右回りに、文部科学省森友室長、NITS 百合田フェロー、学芸大学藤井名誉教授、朝日新聞社榎本氏。